

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年3月22日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年3月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【増設多核種除去装置の炭酸ソーダ製造装置3用移送ポンプの性能低下について】 増設多核種除去装置の炭酸ソーダ製造装置3用移送ポンプが定格流量にならないため、性能低下と判断。 なお、炭酸ソーダ製造装置1および2は健全であるため、増設多核種除去装置の運転に支障なし。	GⅢ	3月19日